

トライアングル

2017
秋号

発行日／平成 29 (2017) 年 12 月 発行／一般社団法人 大阪知的障害者福祉協会 発行責任者／松上利男 編集／丸山攝
〒 542-0012 大阪市中央区谷町 7 丁目 4 番 15 号 大阪府社会福祉会館内
TEL 06-6763-3785 FAX 06-6763-3759 E-mail osaka-chifukukyo@giga.ocn.ne.jp

第36回スポーツフェスタ2017大阪

また出たい！ 次は金メダル！

今回、スポーツフェスタに初出場の施設、「四季の森」の利用者（堀越正宗さん）に取材してきました。

「四季の森」と同法人の施設「クリエイトしき」との、合同練習会があり、第1回目の合同練習会の風景も取材させて頂きました。

「四季の森」は、スポーツフェスタに初めての参加という事で、探り探りの状態で取り組んでいました。「クリエイトしき」はスポーツフェスタに参加した事があるので、お互いに情報を共有しながら練習を行っていました。まずは、30m走や50m走の種目に出場して、今後、色々な種目に挑戦したいと秋本施設長は考えているそうです。

また、「四季の森」では、施設の周辺などを散歩する事はあるが、走る事がないので怪我をしたり、順位を競い合ったりする事が出来るか不安だと宮武副主任は話してくれました。

堀越さんにスポーツフェスタについての質問をしたところ、「金メダルを取りたい！」「陸上頑張る！」と答えてくれました。そして、練習会の最後に意気込み

練習後の集合写真。左端は施設長の秋本佳子さん、中央は主任の下田悟吏さん、右端は副主任の宮武克平さん



メダル授与後。上段左から佐々木恵利佳さん（銅）、湯淺真子さん（金）、前田春美さん（金）。下段左から西川勝巳さん（銀）、堀越正宗さん（銅）、多田安奈さん（参加メダル）



を皆さんの前で発表されていました。大会当日の10月21日（土）、会場であるヤマスタジアムでは、あいにくの雨模様でした。施設として参加を悩んだそうですが、当日を楽しみにされていた利用者の気持ちを優先し、参加を決意されました。堀越さんは、50m走を一生懸命に走り、結果は3位の銅メダルでした。金メダルではなかったですが、メダル授与の際には、とても良い表情で喜びを表していました。出場後、「また出たい！次は金メダル！」と、次回のスポーツフェスタを楽しみにしていました。他の5人の方も、色とりどりのメダルを取っていました。写真にも掲載されていますが、メダルをもらい笑顔で万歳している姿を見ると、私も嬉しくなりました。また、来年もこのような初出場の方が増えて、笑顔を多く見られると嬉しく思います。

取材先：社会福祉法人 恵生会 四季の森（八尾市楽音寺 609 番地）
取材日：平成 29 年 10 月 5 日（木）、10 月 21 日（土）
取材者：高原良大（茨木学園） 水津由衣（かしま障害者センター Link）

スポーツフェスタは、1、2、3位以外でも参加賞としてメダルをもらう事が出来ます。授産品などの販売も行っています。次回の申し込みは、大会事務局であるジェイアイシーウエストのホームページで9月頃から確認出来ます。



大阪府レクリエーション協会で、運動・レクネタを聞いてきました

日々の余暇活動や利用者の方の運動不足について、悩んでいることはありませんか？利用者の方と一緒に楽しめるような時間を作りたい、楽しみながら体を動かす機会を作りたいと思っているが、上手く形にできず悩んでいる方がおられるのではないのでしょうか。



レクリエーション用具を体験しました



利用者の方へやってみました

そんな悩みを解消できるときつけになればと思います、公益財団法人大阪府レクリエーション協会を訪問し、事務局長の佐藤誠之氏とチーフの市橋真都佳氏からお話を伺いました。

大阪府レクリエーション協会は、レクリエーション・インストラクターの養成、レクリエーション用具のレンタルと販売、福祉施設や地域の子供会活動などに講師を派遣されたりと、誰もが楽しめるプログラムを作りながら、地域交流を大切に活動されています。

実際に大阪府レクリエーション協会を取り扱っている用具を体験して感じたことは、参加者全員が楽しめるものもあれば、個人で楽しめる内容もあるということだと思います。市橋さんによると、アレンジを加えることで様々な楽しさを引き出せるということでした。また、専用の用具を使わなくても、身の回りにあるもので代用できると教えて頂きました。例えば、新聞紙と傘を使って

玉入れ、紙コップと洗濯バサミでバランスゲーム、などです。

実際に教えて頂いた新聞紙と傘の玉入れを利用者の方で行いました。最初は「これから何が始まるのかな？」と興味を持って下さり、運動が苦手な方も楽しみながら体を動かすことができました。身の回りのもので「こんなことができるんだ」と感じる事ができました。

今回の訪問では、「何もないからできない」のではなく、ちょっとした工夫が楽しい雰囲気を作り出すことができ、「楽しい」と感じてもらうことで、運動不足や運動が苦手な方、リハビリが必要な方に対してもその人に応じて体を動かす機会を作ることができるのだと思いました。

ぜひ、参考にして頂けたらと思います。

取材者：さつき園 吉岡裕幸

隆光学園 吉村周一

ちょっと

つぶやき

リレー

大和川園 生活支援員 杉扶早子

平成22年4月から大和川園で生活支援員として勤務、日々利用者の支援に携わっています。私が所属しているグループは、自閉的傾向がある方の生活支援を行っています。言葉が話される方、話されない方、様々な方がいらっしゃいます。ただ、共通して皆さん、とても素直で笑顔が素敵な方たちばかりです。

私が勤める大和川園では、たくさんの職員がいます。悩んだことに親身になって相談に乗ってくださる諸先輩方。悩んでアドバイスを求める後輩。グループに分かれている現場ですが、グループ関係なく仕事の話、世間話を出れる関係性があります。私は、勤務1年目の時、半年経った頃体調を崩して数日入院することがありました。復帰した時は、気持ち悪い思いもありましたが皆さん「大丈夫？無理しなや。」と声をかけて下さいました。今でも、少し疲れている様子や大変な時は皆さん「大丈夫？」と声をかけて下さる優しい方々です。この職場で、私は人との関わり方を日々学んでいます。楽しいだけでなく、辛い時もあります。利用者の方の笑顔を見ると、嬉しいことを忘れることができます。私にとってかけがえのない場所です。

次回は
堺市立第1第2
つぼみ園の
鄭龍明さん
にお願いします



編集後記 今年のスポーツフェスタは残念ながら大雨の中の開催となりました。しかし選手の皆様は雨を気にすることなく全力で競技に取り組んでいました。

29年度2回目のトライアングルは、ページ数を少なくして発行させて頂きました。今号は、スポーツ・レクを特集しました。会員事業所の皆様の余暇活動の助力になればと思います。(編集委員)

*** INFORMATION ***
大阪知的障害者福祉協会のホームページは毎月更新しています。研修のご案内や協会活動の報告等を発信していますので、是非ご活用ください。2月2日(金)に中堅職員研修会を開催予定です。